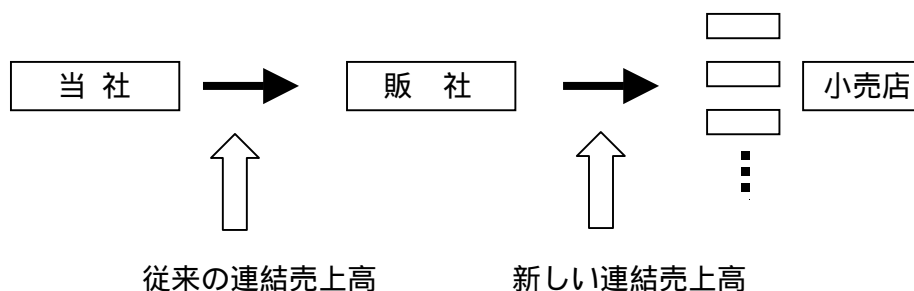


販売会社連結による連結売上高への影響について

新たに連結対象となった花王販売株式会社（以下“販社”）は、全国のスーパーマーケットやドラッグストアなどの小売店に、花王の製品のみを販売する卸売業の会社です。

従来、販社に対する当社（花王株式会社）の出資割合が40%未満で、実質的支配力基準に基づくフル連結対象会社とはなっていませんでした。当中間期前半に、販社の株主様から株式譲渡のご要請を受けて、当社が引き取った結果、持ち分が40%を若干オーバーしましたので、当期からフル連結対象会社となりました。これにより、販社を通じて販売した製品の連結決算における売上高は、下図のように計上基準が変わりました。



従来基準では、当社から販社への売上高＝当社単体売上高が、連結売上高に計上されてきました。数量は販社が小売店に売り上げた数量と原則として同じであり、単価は当社と販社との価格交渉に基づく想定卸売り価格に基づいております。また販社の費用やマージン分は別途販売手数料として、当社から販社へ支払われています。

新しい連結売上高は、販社から小売店への実績卸売り上げであり、売価も各小売店に卸した実売価格です。

当社から販社に販売手数料の中に含めて支払っている、小売店への後払いリベート相当費用が、販社においては売価から控除する形で処理されていることが、今回販社を連結したことによって売上高が減少した主な要因です。

下半期もほぼ同様の影響が予想され、年間のこの要因による連結売上高への影響は約120億円のマイナスと見込んでおります。